

～地域の子どもは地域で守る～

朝霧小学校区「スクールガード通信」

スクールガード朝霧小学校区

『朝霧小学校区スクールガードの現状と希望』

朝霧小学校区スクールガード代表 山本 時三

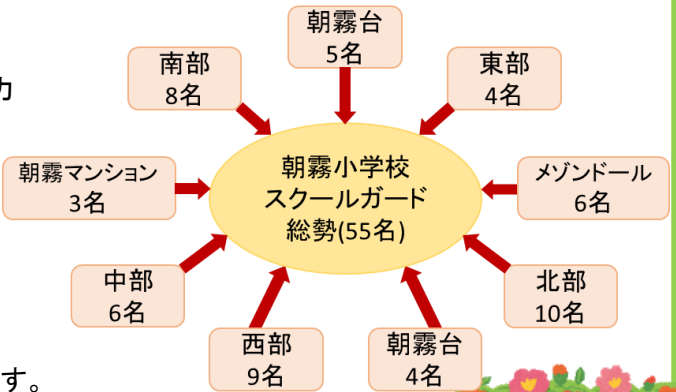
今年の初め頃にスクールガード前代表打越さんより新代表へのお誘いを受けました。『できない事よりできる事を考えましょう』とお言葉に乗り、新代表を引き受けることになりましたが、スクールガード運営に不慣れなことが多く、スクールガードの皆様にご不快なこともあるかと思いますが大きな目で見ていただければ幸いです。

さて、新聞やテレビで悲惨な事件・事故が起こっている報道を目にする度に、朝霧校区のあの場所が類似している環境ではないかと考えるようになり、何か対処しなければと思うことが多々ありますが、思うばかりで行動に移せないのが現状です。

そしてスクールガードの皆様も70歳以上の方が大半となっている現状で、後継者のメンバー確保に思案中です。ご協力頂いている方々は、ほぼ毎日のように指定の場所で児童の安全・安心にご尽力いただいておりますが、今後は毎日の活動ではなく、主要通学路で1週間に1～2回くらいや登下校時間帯に自宅前等でご協力頂ける方も登録していただき人数を確保したいと思います。

朝霧小学校区スクールガード前代表の打越さんが10数年運営されてこれ、他校区から比べると大勢の皆様の協力で活動できておりますが、来年以降のことを考えると現状の人員での活動内容を維持するのは困難になる可能性もあります。学校・PTA・自治会及び校区の皆様朝霧校区の安全・安心の為、スクールガード活動にご理解とご協力をお願いいたします。

朝霧校区スクールガード全員で微力ながら協力していきたいと思っております。



『朝霧校区の安全・安心の裾野を広げよう！』

朝霧小学校 校長 尾崎 秀利

スクールガードの皆様には、暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も、子どもたちの登下校の際の見守りや声かけを中心に、様々な危険から子どもたちを守っていただいていることに心から感謝申し上げます。

朝霧校区においては、大人の目が行き届かない場所や交通の危険な箇所をできるだけなくそうと、おれんじキャップをかぶったスクールガードさんが中心となり、要所要所に立っていただいているところです。

しかし、スクールガードの皆様も高齢化が進み、十分な人数の確保と配置等が課題としてあがってくるようになりました。そこで、朝霧校区まちづくり協議会、朝霧小学校教職員、朝霧小学校PTA等々が一体となってスクールガードの皆さまだけに、子どもの安全をゆだねるのではなく、『皆が出来る時に、出来る事をしていこう！』を合言葉に、自治会単位でスクールガードボランティアの呼びかけを進めていく一方、保護者の皆様にも、お時間がある時には、ご自宅近くで少しの間でも、ご自分のお子さまに加え近隣のお子様にも声かけしていただいたり、お仕事に忙しい方には、スクールガードの皆様にお会いした時、感謝の思いを少しでもあいさつ等でお声をかけていただくなどを呼びかけています。

おかげさまで、ご理解ご協力してくださる保護者も増えつつあり、保護者スクールガードさんも現れてきています。そのように、皆が一人ひとり自分の出来る事を考えつつ、スクールガードの皆様を先頭に、朝霧校区の「安全・安心」の確保の裾野を広げているところです。今後とも、朝霧校区の皆様には子どもたちの安全のためご理解とご協力をお願いいたします。

『安心して過ごせる町へ』

朝霧小学校 PTA 会長 白藤 信祐

スクールガードの皆様、いつも子どもたちの登下校を見守ってください、ありがとうございます。毎日交差点や信号に立ち、子どもたちにあいさつや声かけをしたり、それ以外の時間でもおれんじキャップをかぶり、地域の安全を守ろうとする姿を目にすると、保護者としては安心して学校へ送り出すことができますし、感謝の気持ちでいっぱいです。

近年、子どもたちを巻き込んだ悲惨な事故や信じられないような事件が毎日のように報道で流れてきています。これは他人事ではなく、いつ私たちの近くで起こってもおかしくないような気がしています。このようなことを起こさせないためには朝霧地区に住んでいる人たちが、自分たちの地域は自分たちで守っていくという意識の変革や、システムの構築が必要であり、そのためには何よりも地域住民同士のつながりが重要ではないかと思っております。

現状、多くの方がスクールガードに参加され活動されているように感じますが、一方では高齢化が進み、今後同じように継続していけるかわからないという声も聞いています。

今後は我々保護者たちも、自分と大切な家族が暮らす地域に関心を持ち、一人ひとりがほんの少し地域の活動に参加していただくことで、スクールガードの活動と同様に事件事故などから子どもたちを守る一助となれるのではないかと考えます。

<教育委員会からのお知らせ>



子どもの安全を守る取り組みについて

明石市では、学校、家庭、地域が連携して子どもの安全を守る取り組みを進めています。

(主な取り組み)

- 1 子どもが「自分の身は自分で守る」自己防衛・防犯意識の向上を目指し、小学校低学年児童・幼稚園児を対象とした防犯教室を実施しています。
- 2 まち探検の授業等で「こども110番の家」の場所確認等を実施しています。
- 3 教職員を対象とした防犯訓練を市内各小学校・幼稚園・養護学校等で実施しています。



防犯教室



防犯訓練

まち探検

子どもの安全を守る地域連絡会議を開催



会議の様子(朝霧小学校)

6月24日から9月3日にかけて「明石市子どもの安全を守る地域連絡会議」を市内4ブロックにわかれて開催しました。スクールガード、PTA、学校長、警備会社、明石警察署、教育委員会、市の関係各課が、地域の安全・安心の取り組みについて報告と意見の交換を行いました。

各々が定期的集まり、情報交換することによって互いに連携して、子どもの安全を守るよう取り組んでいます。

スクールガードの皆様へ防犯笛を配付



明石市では、以前より子どもたちには小学校入学時に防犯ブザーを配付していますが、この度安全対策の強化としましてスクールガードの皆様へ、周囲に危険を知らせるための防犯笛(ホイッスル)を配付しています。



スクールガードの皆様にも身の危険を感じた時の自己防衛に役立てていただき、今後とも登下校の声かけ等の見守り活動のご協力をお願いします。

※ご希望の校区に配付しております。希望される校区は青少年教育課(☎078-918-5057)まで、ご連絡ください。

スクール
ガードの皆様
いつもありがとう
ございます!!

